

「２０２５年度 町田市小学生・中学生フォーラム」の実施報告について

１ 概要報告

１ 目的

町田市内の小学校・中学校から児童・生徒の代表者が集い、各学校の課題解決や目標実現に向けた取組等について交流することを通して、今後の各学校における自主的な取組の活性化を図るとともに、各自の主体性や協調性等の育成を図る。

２ 概要

- ２０２２年度から開始し、４回目の実施となる。
- 今年度からは小学生も参加しての実施となる。
(学校数が多いため１２校ずつ、毎年入れ替えて実施)
- 事前に町田市立小・中学校に調査し、テーマを「みんなが行きたいと思う学校にするために」と決定し、実施した。
- 町田市立小・中学校各校２名の代表児童・生徒が集い、会の進行や話し合いを主体的に進めた。
- 各学校で行っている、みんなが行きたいと思う学校にするために取り組んでいることを共有し、「みんなが行きたいと思う学校にするために」大切なことを考え、今後取り組んでみたいことを具体的に考えた。

３ 実施日時・会場

２０２５年７月３１日（木）午前１０時から正午まで
町田第一中学校 校舎２階 交流ホール

４ 会の流れ

- (１) 開会式
- (２) 各学校で行っている「みんなが行きたいと思う学校にするために」取り組んでいることを共有する。
- (３) 「みんなが行きたいと思う学校にするために」大切なことを考え、今後取り組んでみたいことを具体的に考え、発表する。
- (４) 振り返り
- (５) 閉会式

２ 資料

(１) 活動の様子



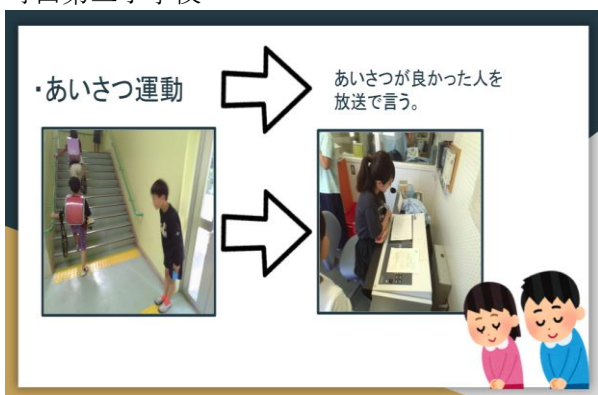
(2) 各学校で行っている「みんなが行きたいと思う学校にするために」の取組

各学校でスライドにまとめ、グループに分かれてそれぞれの取組を伝え合った。

※スペースの関係上、複数枚あるスライド資料の内、一部のみを掲載。

【小学校】

町田第二小学校



町田第三小学校

まちさん郵便

町田第三小学校では「まちさん郵便」という活動をしています。

インタビュー

小学5年生



学年関係なくハガキを送って学年全体の交流できるようにとおもって、まちさん郵便が作られたんだと思います。

町田第六小学校

町六まつり

町六まつりは、1～3年生は遊びで4～6年生はお店を作ること、遊ぶことをしています！文字集めラリーもあり全部のお店を回りたいくなります！



南大谷小学校

星空映画館

毎年一回、9月頃に星空映画館をやっています！その頃人気の映画を父母教の方々に準備をしてもらって、映画を学校で楽しもう！という取り組みを行っています。



南第一小学校

南第一小学校の取り組み



【今やっていること】

- 他学年との関わりをもつ。
 - ・たてわり班活動など、1～6年生で遊ぶことを通して、仲良くなる。
 - ・クラブや委員会を通して、他学年と一緒に学校を支えていく。
 - ・一年生の掃除などを手伝い、よりスムーズな学校生活を行う。
- 様々な行事を通してよりみんなが行きたいと思う学校にする。
 - ・みんなで協力の大切さを学ぶ。

南第三小学校

NINANI3 NINANI3 NINANI3 NINANI3 NINANI3 NINANI3

あいさつ運動

南三小のマスコット「あいさつねこちゃん」



NINANI3 NINANI3 NINANI3 NINANI3 NINANI3 NINANI3

鶴川第一小学校

つなげると…25mプールより長く、輪がつながりました！



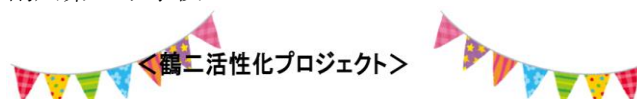
やさしい言葉を広げると…



- ・明るい学校になる。
- ・明日も来たいと思うようになる。

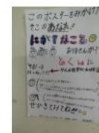
やさしい言葉の例
 ・ありがとう！
 ・やさしいね！
 ・面白い！
 ・かわい！
 ・うれしい！
 など…

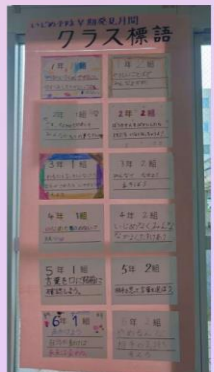
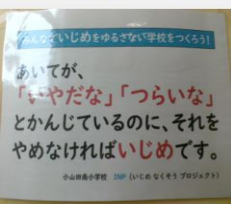
鶴川第二小学校



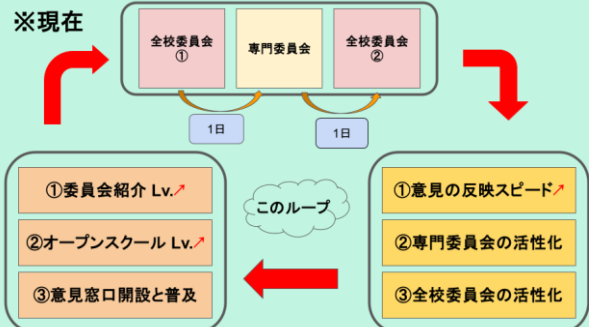
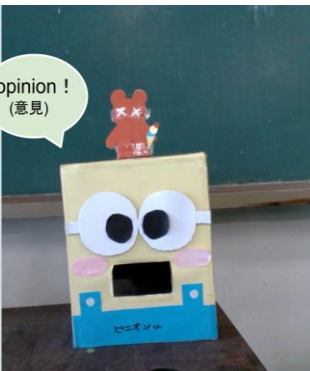
この活動は、6年生が「聞いて考えを深めよう」という授業で、鶴二小をより良くするために、色々な学校を支えてくれる方に、インタビューをし、ポスターなどを作り、全校のみんなに課題などを、少しでも直してもらおうとする活動のことです。そこで、インタビューの前にアポ取り(アポイントのこと)をしたり、どんな質問をしたらどんな答えが返ってくるかななどを、みんなで考えることが出来ました😊

実際のポスター→



小山田小学校  田植えをした田んぼで 元気に育つ稲 収穫したもち米でお餅つきをします たてわり班遊びもする校庭 6年生が中心になって 計画、準備、進行します	山崎小学校 いじめの標語 いじめを無くすためにはどうしたらいいかクラスごとに話し合って標語を作ります。 みんなでいじめについて考え、今後いじめが起こらないようにします。 
小山田南小学校 INP(写真)  あいてが、「いやだな」「つらいな」とかんじているのに、それをやめなければいじめです。 	七国山小学校 ★ふわふわ言葉ビンゴ★ 代表委員会が七国山小学校23年目を記念して23年目にもここに笑顔でいたいのでふわふわ言葉ビンゴを計画しました。 おもに「素敵だね」「ありがとう」など代表委員会が言って欲しい言葉をいれました。 みんな一生懸命取り組んでくれました！ 

【中学校】

町田第一中学校  今行っている取り組み 1. 文化祭の構想 2. 中央委員会改革 3. 一中改革議案書作成 このほか、生徒会新聞「町田一中大すき新聞」の発行やプラスチック製使用済みペーパースイクルプロジェクト、生徒会ネット意見箱の設置・返信、などなど...	町田第二中学校 ※現在  このループ ①委員会紹介 Lv.↑ ②オープンスクール Lv.↑ ③意見窓口開設と普及 ①意見の反映スピード↑ ②専門委員会の活性化 ③全校委員会の活性化
町田第三中学校 学校に行きたいと思えるような取り組み ■取り組み内容 全校生徒がくつろげるような共通スペースを作る。 ■取り組もうとした背景 現時点で職員室前や保健室に用がないのにたむろっている生徒が多く、それをなんとかしたいと考えたから。	南大谷中学校 ピニオン(意見箱) ・意見箱の設置 ・フォームでのアンケート ピニオンは学校に一人ひとりの意見を反映させるために行っている活動 



③生徒会からの返信

[illegible]

金井中学校

日本の伝統に触れる活動

- ・七夕(短冊を書き、飾る)
- ・着付け教室



忠生中学校

取り組みを行って良かったこと

「ジャージ登校」

- ・体育や技術などのジャージに着替える授業の準備が早まった
- ・暑さ対策が取りやすくなった

「意見箱」

- ・生徒総会以外でも、生徒の意見が聞くことができる

「中央委員会だより」

- ・全校生徒への情報が朝礼以外で連絡できる

山崎中学校

学年レク

学期末や宿泊学習では生徒が考えてレクの内容を決めます。去年のスキー移動教室では各班ごとにレクを企画してもらいました。みんなが企画運営の経験をする事ができる良い機会でした。



木曽中学校

やってみて良かったこと・感じたこと

〈あいさつ運動〉

- ・毎月やるたびに挨拶をしてくれる人が増えている
- ・お互いに気持ちが良くなる
- ・挨拶の木曾中を守れている

〈生徒会種目(体育祭)〉

- ・他学年との交流もでき、楽しいものになった

〈ベルマーク回収〉

- ・強化週間を実施することでみんなのベルマークを集める意識が高まった

小山田中学校

学習展示会での生徒会ブースの設置

- ・生徒会室のドアを外し、生徒会役員ではない生徒も中に入れるように解放する。

学習展示会
生徒が授業や部活で作
作した作品を展示する
イベント



小山中学校

協議会の流れ

生徒にアンケートを取り、協議
したい校則を募集。

生徒会が実現性のある意見
を選定、議題を決定。

クラス協議

生徒会が各クラスの意見をもとに
提案をまとめ、先生に提出。

教師が校則について生徒から
の意見をもとに協議。

結果を全校生徒に発表

堺中学校

◆挨拶ビンゴ◆

生活委員	今週給食当番の人	学級委員	日直	友達10人
海外に行 ったこと がある人	担任の先生	元・現生徒 会役員	出席番号が 一桁の人	隣の席の人
マスクをし ている人	出席番号が7 の倍数の人	start	副担任の先生	ショートヘ アの人
先生	メガネをか けている人	陸上部の人	元A or 1組 の人	他クラスの人
他学年の人	前や後ろの 席の人	廊下ですれ 違った人	氏名の文字 数が漢字で 4文字以外 の人	班長

←このビンゴを挨拶で達成していく

お題の人と挨拶を交わしたらチェック

縦・横・斜めで5つ揃ったら達成

表彰されるために挨拶をする

挨拶のきっかけに繋がるようにビンゴ

数が多かったクラスには朝礼で表彰

「挨拶溢れる堺中」を目標!

武蔵丘中学校

皆が行きたいと思えるような環境を作る取組③

■取組内容「Mef's day」

■取組の目的

学年の壁を超えて、武蔵岡全体の仲を深める。

全学年で交流を深める場を設けることで仲良くなる機会を増やす。

■方法

学級委員会が企画を考えて全校で行う。

(ナンジャモンジャや哲学お喋りカードを使って交流した。)

■成果

他の学年の人の顔を覚えて、**会話をする足がかりになった**。他の学年の人の性格な
どを覚えて**親しみやすくなった**。

(3)「みんなが行きたいと思う学校にするために」大切なこと、具体的な取組、今後取り組んでみたいこと

小学生と中学生それぞれグループで話し合い、話し合ったことをまとめて、全体で発表した。

【小学生 A～Dグループ】

Aグループ

「みんなが行きたいと思う学校にするために」

大切にしたいこと

- ・みんなで協力すること
- ・他学年との交流
- ・遊びとか娯楽も息抜きとしていれる

具体的な取組

- ・あいさつ運動(あいさつが良かった人を給食の時間にいう。)
- ・たてわり班活動
- ・子ども祭り(前半後半に分かれて、遊んだり営業したりする。)交流ができる!行ったところにスタンプを押す。
- ・いろんな教室が使える!(校庭は×)
- ・一年生の手伝いを導入してみたい。



情報交換をした他校の取組も参考にしながら話し合った。

Bグループ

「みんなが行きたいと思う学校にするために」

大切にしたいこと

- ・他学年とのコミュニケーション
- ・地域との関わり
- ・先生との関わり
- ・みんなを大切に
- ・自分も大切に
- ・生徒の意見を聞く
- ・みんなで協力すること

具体的な取組

- ・INP(いじめをなくそうプロジェクト)
- ・挨拶ビンゴ
- ・ふわふわビンゴ
- ・意見BOX
- ・あいさつ運動、あいさつの木、挨拶運動スローガン、あいさつマン
- ・たてわり班活動
- ・お祭り
- ・本作り
- ・学校内郵便
- ・遊園訓練

Cグループ

「みんなが行きたいと思う学校にするために」

大切にしたいこと

- ・他学年交流
- ・仲を深める・いじめをなくす
- ・道徳心(良心)
- ・誰とか関係なく交流(地域)・コミュニケーション能力
- ・協力する心・気遣い・気づいて変える

楽しい!

具体的な取組

- ・マスコット
- ・郵便局(手紙)
- ・音楽発表会
- ・星空映画館
- ・人権の花
- ・挨拶活動
- ・たてわり班活動
- ・募金(販売活動)
- ・委員会活動
- ・クラブ活動
- ・ふわふわ言葉
- ・言葉の輪プロジェクト
- ・いじめ標語
- ・お祭り
- ・あいさつビンゴ

付箋を活用し、取組を出し合った。

Dグループ
「みんなが行きたいと思う学校にするために」

- 大切にしたいこと
- あいさつ・笑顔
 - やさしさ・思いやり
・笑顔・楽しい・言葉づかい
 - 協力
・他学年との協力

- 具体的な取組
- たてわり活動 → 笑顔 & 楽しい & 協力
 - あいさつ運動+あいさつの木 → 言葉づかい
 - 言葉の輪 → 言葉づかい & 優しさ

大切にしたい言葉を出し合い、
整理した。

【中学生 E～Kグループ】

Eグループ
「みんなが行きたいと思う学校にするために」

- 大切にしたいこと
- ・生徒の意見を聞く
 - ・あいさつをすること
 - ・学校全体で仲が良い
 - ・きれいな学校

- 具体的な取組
- ・目安箱の設置
 - ・アンケートの実施…デジタルで実施
 - ・あいさつ運動…代表が門の前に立ってあいさつをす
 - ・レク活動…学年全体が交流できるレク
 - ・掃除がしっかりできているクラスを表彰する

「概念と取組は分けて考えよう」
等、話し合いの趣旨を理解し、
進めていた。

Fグループ
「みんなが行きたいと思う学校にするために」

- ～大切にしたいこと～
- ・生徒の意見を取り入れる
 - ・雰囲気作り
→全員が楽しく過ごせる
生徒の居心地の良さ
 - ・学校の現状を知る
→自己中ではないか
ルールの確認

- ～具体的な取組～
- ・目安箱
→見た目の工夫など周知の工夫
 - ・月1学校アンケート
 - ・学校スローガン
 - ・他学年との共有スペース

Gグループ

「みんなが行きたいと思う学校にするために」

〈大切にしたいこと〉

- ・生徒の一人ひとりの意見を聞く→考える(生徒に伝える)→実行する
- ・生徒自身に任せる(生徒が中心になって)
- ・話し合い
- ・あいさつ
- ・楽しいを増やす＝楽しい企画を実施(学年の縦で繋がるような企画)

〈具体的な取組〉

- 生徒の意見を集めるために
- ・意見箱⇄でた意見を実現できる場を設ける
 - ・一斉アンケート
- あいさつを増やすために
- ・あいさつ運動、挨拶ビンゴ
- 楽しいを増やすために
- ・イベント実施
- 生徒が主体になるために
- ・学年レク、体育祭の競技を生徒が企画

先輩、後輩等、縦の繋がり的重要性を考えていた。

Hグループ

「みんなが行きたいと思う学校にするために」

大切にしたいこと

生徒が主体になって学校を変えていくこと。

生徒の意見を取り入れ、生徒たち自身でみんなが行きたいと思える学校を作っていくこと。

具体的な取組

生徒と先生が対等に話し合える場を設ける。

生徒会朝礼などの場を使い、意見boxの認知度を高める。
クラスルームにアンケートをあげ、生徒が意見を言いやすくする。

Iグループ

「みんなが行きたいと思う学校にするために」

大切にしたいこと

意見を気軽に言えるようにする。意見ボックスの認知度を上げる。

他学年の交流活動

地域とのつながり

暑さ対策

いじめ対策

具体的な取組

意見ボックスのデジタル化で言いやすく 他の活動と結びつける 両方出して

存在感を強める 各クラスの黒板にQRコードを貼る

議案書討議で話す その意見を取り入れる 生徒総会で自分の意見・質問を言えるように

昼休みを使って交流 あいさつ運動や学校行事などで他学年との交流 部活の演舞を見せることもある

体育祭で生徒が考える種目で団体競技をして他学年とも関わりを増やす

直接呼ぶでみる 学園祭で地域の方にも来てもらう 介護施設で地域の方と話す

ジャージ・私服登校

盗難対策としてリュックを持ち歩く 先生と仲がいいから気軽に相談できる

ポスターでいじめ防止を呼びかける

朝に風紀委員会が服装チェック呼びかけなど ポスターで校則の共有

体育館開放で雨でも運動ができるように



Jグループ
「みんなが行きたいと思う学校にするために」

大切にしたいこと

- ①生徒の声を聞く
- ②他学年との交流
- ③地域との関わり
- ④校則改定
- ⑤過ごしやすい学校

具体的な取組

- ①意見箱(デジタル化→Googleフォーム)
定期的にクラスで意見を出し合う→生徒会へ
意見を出しやすい
- ②イベントの増加(生徒主体)→クラスの団結力up
清掃ボランティア
参加すると表彰→参加人数を増やす
- ⑤校内を一方通行に(事故防止)
他クラス侵入禁止
エアコンを誰でも操作可に

学校に持ち帰って、
実際に取り組んでみたいと
意欲が高まった。

Kグループ
「みんなが行きたいと思う学校にするために」

<大切にしたいこと>

- ・意見を取り入れる
- ・カーストによる問題防止
- ・他学年との交流
- ・先生との関わり
- ・いじめ防止

<具体的な取組>

- ・意見箱、目安箱の設置
- ・他学年フロア内の移動
- ・先生+全校生徒でレク→チーム分けの工夫
- ・共有スペース(未実装)
- ・スクールカジュアルデイ
- ・アリーナ解放
- …一定期間私服登校ありにする



(4) 参加生徒へのアンケート結果

①実施期間 2025年7月31日(木)から2025年8月14日(木)まで

②回答数 58件(参加者64名、回答率91%)

③アンケート結果1：選択項目

設問	とても そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう思わない
各学校の取組を紹介してもらいましたが、各学校の取組は参考になりましたか。	100% (58件)	—	—	—
「みんなが行きたいと思う学校にするために」について、主体的に考えることができましたか。	81.0% (47件)	19.0% (11件)	—	—
話し合いの時に、自分の意見を伝えることができましたか。	70.7% (41件)	27.6% (16件)	2.0% (1件)	—

④アンケート結果2：自由回答・自由記述（一部抜粋）

◆小学生・中学生フォーラムに参加してよかったことは何ですか。

＜他校の取り組みを知ることができた＞

- ・他の学校の特色ある活動（例：あいさつ運動、地域との関わりなど）を知ることができた。
- ・自分の学校にはない取組や制度を知ることができた。
- ・他校の生徒会の仕組みや工夫を知ることができた。
- ・他校の課題やその改善策を知ること、自校の参考になった。

＜新たな視点・アイデアを得られた＞

- ・自分とは異なる視点や考え方に触れることができた。
- ・今までの課題に対して新しい解決のヒントが得られた。
- ・自校の取り組みを見直すきっかけになった。
- ・自分の考えの幅が広がった。

＜自校への活用・改善意欲が高まった＞

- ・他校の取り組みを自校に導入したいと思った。
- ・自校の魅力や課題を再認識し、より良い学校づくりに活かしたいと感じた。
- ・次の代の生徒会へ伝えたいという意識が芽生えた。
- ・全校生徒が行きたいと思える学校にするためのヒントを得た。

＜他校との交流・意見交換ができた＞

- ・他校の生徒と深く話し合うことができた。
- ・初対面の人と話す力がついた。
- ・他校の生徒と友達になれた。
- ・意見交換を通じて新しい取り組みを考えるきっかけになった。

◆来年度、町田市小学生・中学生フォーラムで話し合ったらよいと思うテーマは。

○いじめ防止・人間関係の改善・いじめをなくすにはどうしたらよいか（多数）

- ・みんなが仲良く過ごすためにできること。
- ・「みんなが過ごしやすい学校」とは何か、そのための取組。
- ・認め合いの文化づくり。

○児童生徒が主体となった学校づくり

- ・生徒が学校をより良くするためにできること。
- ・校則改定に生徒の意見を反映させるにはどうしたらよいか。

- ・生徒主体の学校行事について。
- ・意見の表し方。

○異学年・地域との関わり

- ・他学年との交流を増やすことについて。
- ・地域とのつながりを増やすための取組。
- ・交流できる環境づくりと意見の取り入れ方。

○学校の魅力・特色・改革

- ・自分の学校のいいところ、オリジナルなところ。
- ・自分の学校の課題と魅力について。
- ・各学校の伝統（取り組み）をどのように引き継いでいるか。

○ICT・AI・現代的課題への対応

- ・インターネットの使い方（チャット GPT 等 AI の正しい使い方・向き合い方）。
- ・SDGs を意識した学校の取り組みについて。
- ・多様性について。

○その他の意見・感想

- ・今回のテーマ「みんなが行きたいと思う学校にするために」がとても良かったので、来年度も継続してほしい。
- ・エールプロジェクトについて。
- ・きれいな学校にするには。

◆小学生中学生フォーラムに参加しての感想や意見を書いてください。

＜小学生・中学生の交流に関して＞

- ・小学生と中学生で、意見の特徴がかわってくるなと感じました。
- ・中学生の方々との関わりが今まで無かったのですが、私達、小学生とは全く違った視点で物事を見ていたので、とても参考になりました。
- ・発表の仕方についても、やはり私達小学生とは違って、中学生はとてもスラスラと、わかりやすく簡潔にまとめることができていたので、ぜひ見習って今後の学校生活に活かしていこうと思えました。
- ・小学生も参加して楽しかったので、来年も参加した方が良いでしょう！

＜フォーラムの進行・運営に関する意見＞

- ・1部での意見交換の時間がもう少し長くてもいいと思います。
- ・取り組み発表の時間は、少し時間がツメツメで、わかりやすく説明できたかな、と少し心配です。
- ・意見交換のときに、発表者が違うけど同じ学校の人と同じ班になってしまうことがあったので、次回は改善してほしい。
- ・「みんなが行きたいと思う学校」というテーマは幅が広すぎているので、もう少し狭まったテーマの方が良いのではないかと感じました。

＜生徒の感情や気持ちに関する表現

- ・真面目な人達が集まってガチガチの会議をするのかと思って緊張していたけど、学校・学年関係なく楽しく話し合い学ぶことができた。
- ・今回のことでいろんな人が楽しく学校に通えるようになったらいいと思います。
- ・もう僕は任期を終えてしまうので、今回聞いた取組は実現できないのが残念です。もう一年やりたくなりました。

⑤まとめ

<成果>

- ・他校との交流を通じて、自校にはない取組や多様な視点を知り、学校をより良くするための意欲やアイデアが高まった。
- ・小学生が参加することで、交流が広がり、視点が変わったり主体的な学びが広がったりした。

<課題>

- ・各学校の取組については3人（3校）でグループをつくり共有したが、メンバーを変えて3回行ったことで、話し合いの時間が短くなってしまったことや、同じ学校の情報を聞くことになってしまったグループがあり、より深い意見交換や多様な交流を実現するための工夫が求められている。
- ・2026年度の開催については、アンケート結果にあった意見も踏まえながら、内容や方法を検討していく。

3 次年度以降のフォーラムの開催について

- ・「町田市教育プラン24-28」の通り、2026年度も夏に中学校全校及び小学校各地区代表2校で、「小学生・中学生フォーラム」を実施予定。